

## 自治体編

# ITコーディネータ活用記

**開発コスト削減とシステム品質向上に貢献** — 広島県福山市  
ITによる経営革新を支援するITコーディネータは、企業のみならず地方自治体でも活用されている。ここではどのような成果が生まれているのだろうか。その実態をレポートする。

行政のIT化においても、企業と同様、コストを意識した最適なシステム導入が必要。このような考えのもと、ITコーディネータを採用し、大きな成果をあげる地方自治体が登場している。

先駆的な自治体の一つが広島県の東部に位置する福山市である。1992年からメインフレームを中心とした電算処理システムを構築してきた福山市は、職員を5年以内のサイクルで人事異動させていることもあり、専門のシステムエンジニアを配置しにくい状況にあった。一方、ベンダーは1社独占体制であるため競争原理が働きにくく、議会から「システム改造やメンテナンスにかかる費用がベンダーの言いなりではないか」という指摘も出ていた。そこで、「民間に学べ」と白羽の矢を立てたのがITコーディネータだったのである。



福山市市長室情報政策課 小島泰造課長



福山市市長室情報政策課 徳永典子次長

「今や、自治体もコストを下げつつ同レベルの市民サービスを維持することが求められる時代。それにはITを使うしかない。行政にITの専門家はいないから、専門知識を有する民間の方にアドバイスをいただくのが得策と判断した」——福山市市長室の小島泰造情報政策課長はITコーディネータ採用の経緯をこのように説明する。

## 福山市プロフィール

人口：407,456人  
予算規模：2,874億円  
市職員数：4,015人  
(2003年4月現在)

2003年に沼隈郡内海町、芦品郡新市町と合併。

## 福山市のITコーディネータ活用

- 1992年度**  
メインフレームを中心としたレガシーシステムでバックオフィスの電算処理を行う。  
ベンダー1社に任せる問題や社内SEの専門家がいない問題が...
- 2000年度**  
民間SI出身の管理者を非常勤嘱託職員として採用
- 2001年度**  
中山氏を非常勤嘱託職員として採用。週1日、支援を受ける
- 2002年度**  
市町村合併に伴い業務が増大。契約を業務委託に変更し、週2日程度、合併に関わる見積評価、プロジェクト管理を主体に支援を受ける
- 2003年度**  
業務委託を継続、現在に至る

中山氏がコンサルタントを行うこととなった。

## 情報化資源調達に顕著なコスト削減効果

中山氏が担当する主な業務は、各部課の業務システム導入／更新における提案依頼書(RFP)の作成や業者提案総合評価の支援、また、メインフレームのメンテナンス・改良に際しての見積り評価など。今すぐ対応が必要な局面ばかりだ。システムエンジニアの経験が豊富

## 中国経済産業局が市町とITCの交流会開催

中国経済産業局産業部情報政策課は2003年8月、中国地域ITコーディネータ連絡会(ITC中国)との共催で、自治体・ITコーディネータ交流会を実施した。

これは福山市の成功を他の自治体にも紹介し、ITコーディネータ(ITC)活用を希望する自治体とITCとの出会いの場を提供しようというものだ。

産業部情報政策課の岡崎修一係長は、まず自治体ニーズ調査を実施。「回答があった自治体のうち、約50%が交流会に興味を示した」のを受けて、交流会の実現に踏み切ったそうだ。



中国経済産業局産業部情報政策課長末崎豊氏(右)と同係長岡崎修一氏は日頃から中国地方のITコーディネータとの協力体制を築いている

末崎情報政策課長は「地域に密着したITCの活動を頼もしく思う。ただ、市町村は全国で3000あまりしかない。ITCには地方自治体での実績をベースに、最終的には地域の中小企業の活性化を支援してほしい」と、ITCへの期待を語っている。

ITコーディネータ 市町(自治体)



ITコーディネータ活用による成果

福山市・三原市



交流会の実施で次の成功を

中山氏は、ベンダーから提出された見積りの内容を踏み込んで検討。「行政では企業の場合以上に客観性や透明性が求められる」と、緻密な仕事を続けた。この結果、2003年の市町村合併時には、当初予定されていたシステム統合コストを約1億円も削減。見事に市の要求に応えた。

この他にも、同課次長の徳永典子氏が「日々のシステム運用管理部分もご指導いただいております、頼りにしています」と話すとおり、今や市の情報化においてなくてはならない存在となっている。

福山市の成功は、中国経済産業局が市とITコーディネータの交流会を実施するなど(コラム参照)、他の自治体の導入を促す波及効果も生んでいる。

現在、中山氏の立場は嘱託から業務委託に切り替わっているが、小島課長は「市の職員として我々の指南役になってもらいたいほど」と信頼を寄せている。福山市では、今後ITコーディネータの増員も考えており、さらなる協働体制による低コストな行政サービスを目指していくとのことである。

## ITコーディネータ紹介 中山章氏



システムエンジニアの豊富な経験を元に、独立系のITコーディネータとして活躍。2001年から福山市の情報化を支援し、現在は業務委託契約を結んでいる。同市では、特に情報化資源調達部分を担当。民間企業以上に透明性が要求されるなか、責任感あふれる仕事振りで情報化コスト削減やシステム運用改善に大きく貢献し市民の期待に応えている。

「福山市にはITコーディネータへのご理解、またITCプロセスの実践の場を提供していただき感謝している」とその姿勢は謙虚だ。

連絡先  
中国地域ITコーディネータ連絡会 (ITC中国)  
<http://www.it-coordinator.jp/shibu/itc-chugoku/index.htm>  
広島ITコーディネータ協同組合  
<http://www.h-itc.org/>

## お問い合わせ先

特定非営利活動法人  
ITコーディネータ協会 (ITCA)  
住所：東京都港区芝公園1-8-21芝公園 リッジビル7F  
電話：03-5733-8380  
Eメール：info-pr@itc.or.jp  
公式ホームページ：http://www.itc.or.jp/